This copy has been provided by the UBC Archives [or UBC Rare Books and Special Collections] and is to be used solely for research or private study.

YAMAGA YASUTARŌ PAPERS

FOLDER NO.
2-12

II.28

PLEASE RETAIN
ORIGINAL ORDER

一九五二、十一、廿八

キャリブー夜話

山家生

文化の都から三哩、原生林キャリブーに入ってから九哩四粁にある、カウボーイ達とも乗り知り合ひも出来、原始生活にも馴れて呉れば、例へ山奥三軒家でも、住めば都と申す吾が里じゃ、お里自慢も少しはあり等、お正月の読物に、オラが国サを手ヅピり書いて呉れ乍ら、由本だったら神代時代と同じ十七れ

10 X 20

2-12

年、モトトリヤリ
エスト会社の、毛
キサセ約、キサ
ド店の林五キの
張いき木年深の
年握为为的比、心
会社、武器トト
月の寧中者年逃
カは在中な支局本
年服业流为年木
部を置く、イリスツ
使支常は幼キいまな中し
七約と言う六中ヤキも
熱血毒命が北洋を探史
ヨヤオツトセーの優先権
千樹度形作中左又には
年を積み、数人の櫻夫と共
て、中心以外境の中サ心不
部を出発、今のクシ北河
た訳だ、途中巨川ヒ北一の急

保中満蒙まに者を
派遣、静下の茶道に寄り
満蒙を観察す、満
州の各の港湾へ手を
出せ今の港の標識を立てたのが、ビー
ル、ウイスキーの白人が大
半を、英領香港に英領
華頃は米、加の列
境を老く、英、米、西、露
亦どの探見船が
来たり、毛皮貿易は布統を
為し
が、中々ビールの
河口は到底探見は
の基礎を作り、

十八年の年月が加納の金玩具会社、世界中の
金欲比や返中の眠を醒まし、押すな押すな
大陸の本平洋岸に、うよくと集中した。
十年間に加納の金も増りに増りつくし、オレゴン、ワシントン
ひも残らず探し尽した、英典眼を光の友に向けた
頃、米ソ冷戦の一九六〇年代に入り、世界の
一人勝ちの軍拡競争(ビーム・ビーム)のリトルボーイから
ワシントンの軍政のリトルの北太部落から
米て居た青年士人が立た、彼は英吹、ホワイ
トマンが血相変へて探し求めるゴールドと言
ヨ石の話しを始めて呉いた。

「なんだオイラの池にもあるゾ・俺は、こちらに来る前・リットルからトムソと河に泊まって鹿撃ちに行き、雄がわくのでいつも水呑み時・何か光る石があり、拾って見たら、ドラ雲い、家持ち帰って石の上に置いて打って見たら、平たく苔むして、トテモ美しい布巾のモ、孔を明けて紐を通し、鏡の可愛い奴の頸にかけてやって呉れと、此の青年の話が終わるか終らぬ内に、ポケットに入れて居た、ポケットから、血眼迄は、カヌエ、ボ

1ド、ウゲコロセビヤ河を遡行し、ピー
シーにへりくだんで、果てはキャスロー、スロ
ケてフオーク等の砥流磐見とおり
ニューヨーク
ケてシーの砂金や土丸古の古跡から堀り
川沿いに進し、今のクチルの異に砂
地め、異へ、自分の仕事リカー本舞名を芽地名にし八
金床を見付け
1カ所ビルと言ふ所が有名である、主に海岸
から約五哩位の二流にあるが、
此の金山道と、カナダ大陸の出部を貫く先
皮商路と、変の中の道は果しなく続いてゐる

10 × 20

又大フレサーが草葛のやうに八方に支流を伸
ばし、普通に数百千の大小の湖水が、深緑の
森に包まれて氷碧く千古の静さを保つてゐる
、湖水廻りの平地に野生の牧草を見付け、そ
こに拓太小屋を建て、牛、馬や羊を飼つて居
るのが、カウボーイの姿である、何しろ一年
の中六ケ月は零下の大雪に会ふ事、雪ばかり
眺めながら、家畜にヘーをやり氷を割つて水を
飲ませるのが仕事、時には馬に乗つてロープ
、ライフル、ピーバー、マスクラット等

10 × 20

こを見廻つて毛皮を集めるのが当時である。何も
不便な所には水鳥曲芸する一風変つた猛獣は居
ない。深夜と一口に云えども何十度も底冷
悪い長時間すると身体が凍り付きそうだ。
カリブーの位置は、雄多で、赤いのから茶色
が多い、エスキモーの移住者
もあり、英系は何
所でも同じやうに、ストアだの郵便局だの、
客商売が受い。今から三、四十年前と謂つ
ても日本人のハワイ移民が来た頃の

事が、此辺にホームステッド貰うて入植した政府移民の昔話を聴くと、左程の程度を建てるのは、そう容易いが、食料の搬入の便が無い昔は、まだ馬車道も出来て居ない時代で、ソリートの様な物で買うたフラの、を立がり、塩迄も百斤宛を背負うて、徒歩で此の山道を帰ったが、もう少し四、五哩山奥に入って精根つき果て、焚木に荷物を下し休んだが、牛も疲れ切って夜明けまで何も知ず寝てしまうた事もあつた。仔牛を抱いて集り来る熊を撃つては其肉を喰う

10 X 20

て居たが、娘には美男がコツクしてくれ、おうたと大笑ひ、夏中に湖水の魚をとり、塩つけ、スモークにしたりして冬の食料を蓄へたと話す。今では、キヤラブー一回限会しは無くおつたが、昔頃は牛を売るにもパス小さな屠殺場の手先きが、足下を見て、つけこんでヒドイ眼に合はされてゐた。ア一中華大戦後の不況時代に、何十噸と追ひ出した牛を、いくらにも買つてくれず、ストアか

( ) Y. YAMAGA

「今は貧乏お断り」
牛を追つて我が田に帰つて、家族を見ると
急に気が変になり、一家の中まことと言ふ悲
劇をへ語り残された。戦後は肉類の需要
が殖え、横浜に移り、ビール
工場を、原生林に喰らせて居
る果報者や店を、半物、とうゝの新型を持た
ない者は殆ど全く、それ以四、五十哩の
隣村へ必ず大きなボールの社会
には百哩ぐらいの、ヤミヤと集つて来る。

10 X 20

( ) Y. YAMAGA

カラおーイの勇ましい第姿は、一寸一寸
毒の声もと時だけをか見られなくなった。
キャリブーは、金山から牧草へ、それから
放覧客商売へと、陰々に伸展をつゝある、三
千乃至四千吹の言原であるから、空気は乾燥
し、澄んでおり、湖水には、受種の気イルフ
サンシが豊富で、九月からはキャリブーの発
つた、鴨やキーツの猟季に入る、春には鹿、
ムースなどの大ゲームが沢山みるのでい遠く
は未迄各句から、近くはピーシー、アルバタ

10 × 20

( ) Y. YAMAGA

10 × 20

かう、敏猛家が裏手の小屋へ入り代り立ち
代り来ては、ラッカセイ(わかおとこ達は皆丸ニリストに丸太小
屋キャビンを貸つも建て、貸し、ボートを貸
し、乗馬を操へ、自分でも騎乗をし、上手
に立廻る者は多く、ラッカセイで莫大な富を積む者は
輪家富は裏六ケ月は手へらず、春さきに生れ
る仔牛を捕へて焼き判で自分のマークを入れ
るからいうものである、
式窓高売を、安やにやってるのが調節
功コード、ラッカセイで、キャビンは句絶、金の

を嫌い、乗馬、ボ
ートを貸し、毎朝暗殺はダ
レでもすると言ふ。
せず、放覚寝たけ
ど徹底したのもある・又牧蓑
猛営してるのもあり、名は、昔此辺一帯に居た
スキヤリブーといふ為めに湖水辺に古テルを
ある。
今は此部ビルに(青柳)が居あります。(青柳)事件の時
岸辺の動物生やしたお、獣の為めのものあるが
、その種族が此方に去つた代りに、今はムー
ス、鹿が、ハンター目標とするの為めある故、
此ビルキヤリブーが出された牡ムース一人の

10 X 20

( ) Y. YAMAGA

10 × 20

綿数五千頭、牡鹿三千頭近くおろうなと政府は
発表したが、今年は例の口足病如何で
ースや鹿を来見て持ち込め色いの如く、金使ひ
の荒ひやうキーハンターがグンと減り、ムー
スや鹿は、男ひもうけ如く平捨ひしたと云んで
居るやうだ、

兎も角キャリブーの生活は、仙人のそれに
近ひ、四年目に経我以外にドクターを呼んだ
のを笑かぬ、それだけ原生林の人達は悠長で、
健康を第一と考へ、一週間十数束る軽便車の

( ) Y. YAMAGA

市中久喜郎中七庵を再あまを、気
錯かで、金儲け急ぐ因女人には、どうも彼
等のやうな一生涯の牛飼ひはチョットまねも
出来ぬように思います。

10 × 20

キヤリブー夜話

木材業

ビーバーの宝庫

業、狐業であるが、其中で林業は他の三業を

会した程の経営の差額があると謂はれる、言ふ迄

へれば、ビーバーの人造が毎日実知として支那

私ろ、海狸の半分の代は、実に木材から生ずる

もの(取)

ビーバーは市私もおる、大体ビ

ーバーの木材収集な森林区域は、七千万

10 X 20

( ) Y. YAMAGA

面方エーカーで、一千万英加が、太平洋
沿岸区域に在り、御水英所から、現在の林
産額総額の八割が伐り出されてゐる状態で
あるから、キヤプー や、奥地を含せて、三
千万英加・かに二割しか出ぬ訳だ。
かいま[illegible]ある
此統計は、三年前のもので昨年あた
りからぐんぐん増加した筈である。

此れは樹齢に大なかれ小なかれ多少の
リプー や奥地の林地域の、ほんの入

口に手をつけたに過ぎないと称する。

10 X 20

( ) Y. YAMAGA

私共の居る所は、海岸から約三百米位奥まった所で、ほんの目と鼻の先に海があるが、ここは、海岸に沿うて、東西に、長く、山を入れて、湾曲をなし、その為め、東西の風を防ぐ事が出来、大戦中に、近くのテニヤン、レイテに、ソロモン群島に、ニューギニヤに、ビルマに、インパール作戦を、残り少なくなった兵隊が、広さは、東京病に罹った人の様に、顔色が悪く、栄養失調の為めに、歩くのも、やっとの様な、有様で、ここに、落伍して、ここに、骨を埋めた人が、数千人と言われる、その為に、地霊を慰める為に、記念碑を建てた、と言う事を聞いた。

他は、緑の森が、どこまでも続く、その裏手は、ほんの目と鼻の先に、海があるが、ここは、海岸に沿うて、東西に、長く、山を入れて、湾曲をなし、その為め、東西の風を防ぐ事が出来、大戦中に、近くのテニヤン、レイテに、ソロモン群島に、ニューギニヤに、ビルマに、インパール作戦を、残り少なくなった兵隊が、広さは、東京病に罹った人の様に、顔色が悪く、栄養失調の為めに、歩くのも、やっとの様な、有様で、ここに、落伍して、ここに、骨を埋めた人が、数千人と言われる、その為に、地霊を慰める為に、記念碑を建てた、と言う事を聞いた。

他は、緑の森が、どこまでも続く、その裏手は、ほんの目と鼻の先に、海があるが、ここは、海岸に沿うて、東西に、長く、山を入れて、湾曲をなし、その為め、東西の風を防ぐ事が出来、大戦中に、近くのテニヤン、レイテに、ソロモン群島に、ニューギニヤに、ビルマに、インパール作戦を、残り少なくなった兵隊が、広さは、東京病に罹った人の様に、顔色が悪く、栄養失調の為めに、歩くのも、やっとの様な、有様で、ここに、落伍して、ここに、骨を埋めた人が、数千人と言われる、その為に、地霊を慰める為に、記念碑を建てた、と言う事を聞いた。

南下する、一九二五年、式の気候の変化の

10 × 20

闘争を困ったとして、D、G、E、鉄道を廃
新しい都設としたのであるが、二十野宮宿家統
きでい、反対政党からは常にプリーズ、ゴー、イ
ーエーと野次られて本たび三十年後の今日、
海やく氏鉄道の存在が再びクローズアップ
して来た。氏鉄道は現在木曽を井堤が一
スバラクーバへ出るのも近い将来であるが
そうなつたらいキヤリアーの発展に一役の
ビードをかけられる事は勿論氏鉄道はオルエット
だブレ出しへ出してプリーズ、東に誰

10 X 20

ゴールラッシュ工事
やまがラレ頃のプロスペクターの探掘地
であった

エヨトピ	ダからピ	ーストリバーへ逃げる	のもあり、	定キヤリ					
ブー	ハイウエー	がキャムルートプスから出し							
立派なブラウ	ン・トップとおつて昔の金山道								
山に沿ふて森林	縫つて								
中を出発する	但しこのリート道は現在くずれ迄								
昔はクネルに	茅葺の								
ゲンで三週間費した	のが今では								
るのに約	チャンク								
は数時間で走つて	居る。								
氏の道路と									
、鉄道の線に沿ふて、オヤリブ									
1の木材文化	が繁昌して	居るのも	即ち						
タリレトレ附近	からのオリヤムレーキの間に約								
二るくラネル	附近に有るの、プリレスで、ピ								

金山時代の名残り

10 X 20

この附近約三万五千の大小のソーミルが、森林に煙音を揚げて居る、一弐基のミルから積み出されて居る板は、年の産額（正確な統計は無いが）一千万呎、一年の総額二万五千貨車、一貨車積量三万呎）が、英国、米国向けに搬出されて行くのである、ここまで急速に開発されつゝある、このやうに昔の金山熱（熱望時代）は、横浜、神戸、ヤリヅ（奥地のゴールド、ラッシュ）を招き、牧畜で幸福を得ようと企てた人々を、返り咲かせたのである。

タオルが、木株で返り咲かせたのである。

ヤリヅにはソーミルの経営者は、

10 X 20

テーラー・レーキで八ヶ岳ろくそ
五坊部氏一家け
大戦中にパルプ代
区鉄道の枕木の供給
始めた、成功して
吾々も現在
第七等者七人の
兄弟五人、若林兄
十五年程賞と、別
で成功の途上に

10 x 20

昔地からも比十噸世に、滝氏数子の経営するミル

は、製材、プレナミル等数新式のミルとを入

此々前々株主への配当が約束されてゐる。

最近安埴氏も、永井氏の近くに小規模で始め

た、又落氏の隣りにつてゐる山を近くで倉橋氏等

も製材業からうそをミルをやつてゐられる、

何しろ不便な山中にあるから、婚礼葬式などの

機会が些く、特に男女更迭の運がないので、

日東二世の大部分は、キヤリブー入りを嫌ふ

のであるが、前記の小栗兄弟、滝映子の如く

10 X 20

( ) Y. YAMAGA

一家協力して強盗に当る為めには、峰来
急報に伸ぶられる天地が待つて居る、わび労
幼者神経が過敏、外聞を、氏れはキヤリア
一般の強盗者の醜みにあり、何しろ労働者
場から遠く、之つた不便にあるから、段々移動
する牧場は、何か気に喰はぬと、ヘルとか何
とか言つて出て行く、結局多く何十哩も探し
廻つてピヤバーとか言つて果ても、
又ヘルを喰はされる、中には言葉巧みに売か
ら仕事の前金等を喰ふて、払ひの保証をせ

10 X 20

一日も幼かず"
一週間位幼うカル自動車扨もあるし、
しそ逃げあるのも、信用せ、二回分位前
んでも、送つて来るのは、仂らく意慾の
かと言つて家族を連れ、学校の問題もから
やうれば おうち数

こんな事だう、小森兄弟、港父子のや

うに帰阪するが仂らく組織にして在ふ
うに家族ぐるみ
帰阪するが仂らく組織にして在ふ

10 x 20

( ) Y. YAMAGA

いと思はぬ錯誤を来す、それが為め信頼かるべきルが捨てる例がある、

10 × 20

デビバー山の争奪戦

現行法の下では、(国有林の一区域の払下げを申込む者が生ずる(国民に訴う)) 其場合、(国有林)官有林野小林区署で林木の入札を調べ、競争者を(オタルマーザの)競争入札に付し、最高価格入札者(百立方呎單位の)を指示し、(言い出し値)を申込む者、話も他に

噂(せり)の高い場合は、請願者が政府の言い出し値で買える訳であるが、今度のやうに板市場の好況の時には、到底その目的に達し難い事実が、屢々繰返される、時勢競売の前に立ひ

10 X 20

悲嘆、安堵、全力での二次会など、すさまじい騒音を撒き散らして競売で買った者は、木材見積数量の、流れスタンピード移動の一割を保証金として納入させられ、その大半を捨てることになるものは、成る可く当局範囲を頼りとして、小零細企業家が、手が出せない保証金等が、小零細企業家が、手が出せない・・地域附近に集まる・・共地域附近に集まる小企業家が悲嘆の声を挙げて、政府機関をつく・政府が後始末をして後に残った地域を数カ所の地区域に切って

10 × 20

競売に参加するやうな資金もない

又現物出資の形式で、数千、数万英加ドルの資本を有する地域の会社に投資理権を委任する形式でオーレスト・マネーヂメントするのを下請する。

ライセンスを下請する。

事業は、当然小企業家から木材を購入する。

事業は、当然小企業家の手に及ばない範囲の道路の建設・鉄道布設

事業は、政府小企業家が下請もする。

事業は、政府小企業家が下請もする。

事業は、政府小企業家が下請もする。

大会社が、一手にライセンスを買って来たしや
うとする、それに対して（ささやかな）
と代議士（自由）が、小企業家を
全の議会に強い発言権を持つ人物が
あつさり選挙区を九州の神奈川県に移つて
が、此の様の差別政府党にやられた、確と
その主張で、特別補助及スローン利子が
余計に、各地を廻つて資料を
いて居るから、現行森林法の改正が
る訳なので小企業家は待望して居る、

10 × 20